

# 希望が丘地区

## きらっとあさひプラン

第3期 旭区地域福祉保健計画

平成28年度～32年度

### 地区別 計画



希望が丘地区は、東西にのびる、一連の丘陵地に開けた住宅地で、南部は南斜面、北部は北斜面となっています。駅周辺から放射線状に道路が整備され、駅周辺に商店街が形成され集合住宅が多く、さちが丘方面及び三ツ境方面は戸建て住宅が整備されています。

#### ■めざす地区の姿

地域の支えあいを育む 活発な交流があるまち

#### ■目標A

運動する区計画の柱 3 地域の取組で元気力アップ

### あいさつの街をPRする(オアシス運動の推進)

#### ■具体的な取組

- 掲示板の活用やパトロールなどでのPRを積極的に進め、オアシス運動や地域行事の周知を行い、参加者を増やす。
- オアシス運動を通じて、日頃からの見守りの目を増やしていく。



登校の見守り活動



オアシス運動の看板



オアシス運動の掲示板

#### ■目標B

運動する区計画の柱 2 安心して自分らしい生活ができる地域づくり

### 地域の集まりで知り合いを増やす

#### ■具体的な取組

- 子どもや保護者が、地域行事に関心を持ってもらえるような工夫を取り入れて企画する。
- 地域行事や防災訓練等により多くの人に参加してもらい、交流を促進させる。
- 単位自治会で進められた良い取組を、他の自治会でも取り入れるなど、連合全体に広げていく。



運動会



防災訓練



子どもたちが太鼓をたたく夏祭り

## ■目標C

# 学校を通して交流を行う

### ■具体的な取組

- 保護者を含め、小学生や中学生の地域行事等への参加を継続し、ふるさと意識を高める。
- 様々な地域行事等に中学校にも関わりをもってもらい、ジュニアボランティア OB や OG など中学生のボランティア活動を推進する。
- 近隣高校と連携を図り、地域行事に参加してもらう。
- 地域行事の話し合いや活動に小中学生にも参加してもらう。



高齢者交流会でのジュニアボランティア



夏祭りのお手伝いをする小学生



K・K ネットのお手伝いをする中学生

## ■目標D

# 支えあいの輪を地域で広げる

### ■具体的な取組

- 高齢者や障害児者など支援が必要な人を見守る協力者や支援者の発掘（アンケートの実施等）および育成（交流会の開催等）を行う。
- K・K ネットや地域行事を通じて、多世代交流や障害児者支援を進める。
- 防災訓練に保育園や障害者施設など、様々な福祉施設に参加してもらい、当事者理解と地域との関係づくりを進める。



K・K ネット



松の会



さくら会

## 地区の活動情報

### 【K・K ネット】

「中学まで子どもは地域で育つ。多くの大人で育ちを見守ろう」という思いから、希望が丘南連合自治会と共同して、地域の子育てを応援しています。地域の公園で外遊びをしたり、子育てサロンやお話会季節の行事を実施したり、時には中学生のボランティアにもお手伝いしてもらっています。

### 【松の会】

ひとり暮らし高齢者の方を対象とした昼食会を、毎月第4金曜日に希望が丘地区センターで12時30分から行っています。

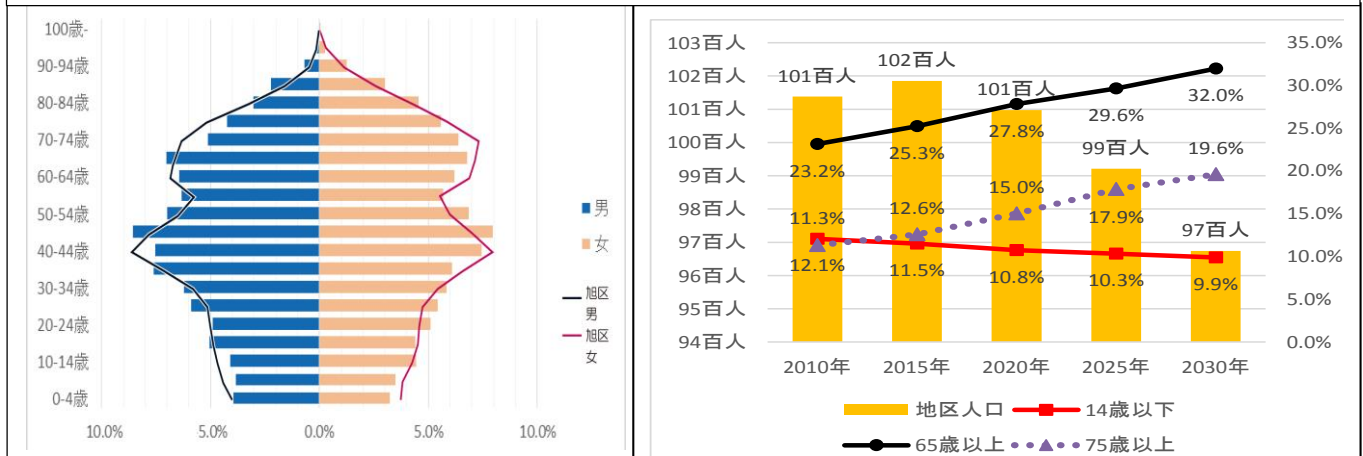
### 【さくら会】

脳血管疾患等の中途障害の方を対象に機能訓練や交流を、毎月第1・3火曜日13時30分から希望が丘地区センターで行っています。

## ■人口データに見る地区の特徴

- ・人口ピラミッド 2015年3月を見ると、旭区（折れ線）と近い構成比率となっています。その中でも45歳から49歳の層の比率が最も高くなっています。
- ・人口の推移では、この5年間ではほぼ横ばいで、高齢化率は約2%増加したが、旭区平均より低くなっています。
- ・世帯数はこの5年間で概ね120戸増加しています。また世帯人員は2015年で2.09人/戸となっています。
- ・地区の将来人口の予測では、2020年で約10,100人、2025年で約9,900人と見込まれます。また、高齢化率は2020年で約27.8%、2025年で約29.6%になると見込まれます。

※人口・世帯数の数値は町丁目単位での集計のため、町丁目が地区をまたぐ等により、実際の数値と一致しない場合があります。



## ■2期計画の振り返り

### ○「オアシス運動」の推進

- ・ポスター掲示や、パトロール等での声かけで運動はかなり浸透してきているが、なお努力の継続が必要。

### ○地域の集まりで知り合いを増やす

- ・「さくら会」「松の会」「K・Kネット」が地域と連携をとり、活動を活性化させている。

### ○学校を通じて交流を行う

- ・「高齢者を祝う集い」「環境美化運動」へ地元の小・中・高校生が参加し、関わりが深まった。

### ○支え合いの輪を地域に広げる活動

- ・「災害時要援護者アンケートによる、要援護者リスト、支援者リストの作成と、連合、各自治会・町内会、民生委員の間での情報共有している。

## ■地区の福祉課題

- ・障害児者への対応の推進  
障害児者の施設と地域との交流の活発化
- ・地域リハビリ教室の参加者減少、担い手の人数の方が多くなっている
- ・高齢者の取組での参加者の減少
- ・外出手段がなく、地域の活動に出てこられなくなっている
- ・小学生のジュニアボランティア後の活動として、中学生のボランティア活動の推進（活動場所の開拓や仕組みの構築等）
- ・中学校や近隣高校との関係づくり
- ・保護者世代のボランティア参加やボランティアに関する意識が低い。
- ・生活の中で、ちょっとした支援を必要としている高齢者や障害児者が、地域には多くいる
- ・住民の孤立化防止の取組の推進  
孤独死が起きないように、具体的な見守り方法の検討が必要。地域の見守りや安否確認に限界がある
- ・福祉の担い手の高齢化、活動者の固定化

## ■福祉保健施設の分布



## ■施設リスト

子ども

### 認可保育所

- ① 中希望ヶ丘保育園
- ② 夢のつぼみ保育園

### 認定こども園

- ③ やつはしキッズ

### 横浜保育室

- ④ プラス保育園

### 放課後児童クラブ

- ⑤ ハッ橋学園 やつはし学童クラブ
- ⑥ ハッ橋学園 やつはし第2学童クラブ
- ⑦ 第2ちびっこハウス

障害者

### 障害者施設

- ① 夏の空
- ② ミツ境どんぐりヒルズ
- 地域活動支援センター(地域作業所)
- ③ 旭カンパニー

高齢者

### 小規模多機能型居宅介護

- ① プルメリア
- 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
- ② ずうずう